



黄金色の穂ザツクリ

育てた米 園児収穫

—— 種池町の水田

福井市の社中央保育園と社中央第二保育園の園児が19日、同市種池町の田んぼで稲刈りを体験した。日差しが照りつける中、年長組の計32人が鎌を使っての刈り取りに汗を流した。

地元農家に借りた約40平方メートルの田んぼで、黄金色に実ったハナエチセンの穂を収穫。JA福井市青壮年部社支部のメンバーに鎌の持ち方などを教わり、穂の根元から上手に刈っていた。はき掛けも行った。「難しかったけど、うまくできた」「楽しかった」と笑顔を見せていた。

園児たちは4月に田植えをした後、生き物観察に訪れたり、かかしを設置するなどしてきた。その後、脱穀や、稲わらで縄作りも体験。米はおにぎりなどにして味わう。

(加藤栄吾)